

第14期事業計画

(2024年9月1日から2025年8月31日まで)

〔活動方針〕

- (1) 賛助会員企業労使と連携して、大企業だけでなく中小企業への視点も含め、広く社会に役立つ提言および発信を行う。
- (2) 労働政策や労使関係以外の企業経営全般の領域にも幅を広げて、実証をふまえたあるべき姿の考察を通して、産業全体での持続的な発展に寄与する事業を行う。
- (3) 事業活動の重点を絞り、現在の組織、規模をフルに活用しながら、効率的でメリハリの効いた事業を行うことにより、中長期的に持続可能な財団運営を目指す。
- (4) 公益財団法人としての法人運営の定着化を図る。

〔活動計画〕

■公益事業1 <年度調査研究>

【第13期より継続】

テーマ：『中堅・中小企業の現状と課題および今後の方向性
～自動車業界におけるサプライチェーンの視点から～』

〔趣旨〕

- ・第13期において、当初の問題意識であった「価格転嫁も含めた企業間取引」「カーボンニュートラルへの取り組み」関連については、おおよその現状把握はできたが、足許での喫緊の経営課題が「新規人材の確保」「既存人材の育成」「事業承継」等である企業がとても多い実態が、あらためて明確になった。
- ・「顧客やサプライヤー間の連携」等の困り事の解決もまだ道半ばの部分があり、継続して中堅・中小企業に対してヒアリング（インタビュー）調査等を進め、最新の状況や近年の変化等を把握して優先課題と対策のポイントを整理し、対応策の検討および考察を通して、今後の方向性や取り組み等を提言として発信。

〔研究期間〕 2024年9月～2025年末頃（予定）

〔研究体制〕 （研究主査を現在調整中）
三浦 孝之 中部産政研 主任研究員

- ・研究内容の詳細および調整は、第13期と同様に専門委員会を設置して推進し、専門委員を派遣いただく賛助会員団体は、別途調整し後日依頼予定。

■公益事業2 <講演会>

情報提供や課題提起の一環として、時代のニーズに即した公益性のあるテーマを選定し、公開セミナーとして開催予定。

2025年8月頃 第14期年度調査研究の報告会

■公益事業2 <産政塾>

ホームページによる公開募集を含め塾生を募集し、第35期産政塾を実施する。テーマ「殻の外へ一歩踏み出そう!」のもと、「三方よし(塾生、出身組織、協力団体)」となる内容とし、「業種・世代の枠を超えた交流と自己研鑽」に繋げる場としていく。

また、塾生の活動や成果を、季刊誌「産政研フォーラム」、ホームページ等を活用し、適宜報告する。

[活動期間] 2024年12月~2025年8月(予定)

■公益事業2 <季刊誌「産政研フォーラム」>

情報公開や課題提起の場として、内容の一層の充実を図る。

(発行予定)

2024年9月 No.143 特集『これからの人材確保を考える4』

2024年12月 No.144以降の特集は、順次立案

■収益事業1 <受託調査研究>

テーマ:「自動車産業が選ばれるためには
~人材確保・定着に向けて実態を深掘りする~」

[趣旨]

第13期では現代の若者(高校生/専門学生/大学生)に対し、就業に対する価値観や考え方・就職活動の実態についてアンケートを実施した。第14期ではさらに自動車産業に魅力を感じている学生(高校生/専門学生)を対象を絞り、LINEアンケートを活用しながら、若者が期待する職場見学会や、先生・両親の就職活動に対する関わり方など深掘り調査して、人材確保・定着に向けた具体的な施策を

提言したい。

[研究期間] 2024年9月～2025年8月

[研究体制]

株式会社 マイナビ (予定)

中部産政研 主任研究員

[研究経過・予定]

2024年9月～ 研究骨子検討/ヒアリング設問内容検討

2024年12月～ 就職前の学生へヒアリング実施

(対象者：高校生、専門学校生)

2025年4月～ アンケート結果分析/調査報告書作成

[報告書発行]

～2025年8月 調査報告書を委託元（全トヨタ労働組合連合会）に提出予

定

タイムリーに情報発信を行っていく。